

IVUS カテーテルの通過性の検討

<sup>1</sup>北海道社会保険病院

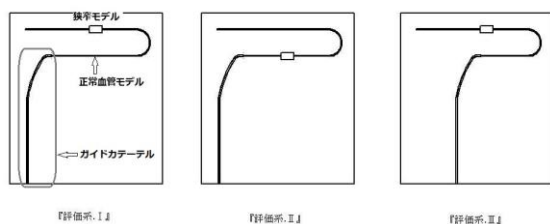
原田 祐輔<sup>1</sup>、竿崎 佑弥<sup>1</sup>、大山 雄也<sup>1</sup>、前 祥太<sup>1</sup>、山際 誠一<sup>1</sup>、奥田 正穂<sup>1</sup>、平田 和也<sup>1</sup>、多羽田 雅樹<sup>1</sup>、寺島 斉

1

【目的】 IVUS カテーテルの性能の評価として、画像・操作性などと並び通過性が挙げられる。今回はその IVUS カテーテルの通過性について比較検討したので報告する。

【方法】 実験回路にはアクリル樹脂製の正常血管モデルの内腔を 3mm、シリコン製狭窄血管モデルの内腔を 1.2mm とし、ストレート・ストレート狭窄・カーブ・カーブ後狭窄をそれぞれ測定できるように 3 つの回路を作成した(図 1)。 IVUS カテーテルには BOSTON Scientific 社製 Atlantis SR Pro2・TERUMO 社製 View It・Volcano 社製 Revolution を使用した。conventional wire・support wire の 2 種類を使用し、IVUS カテーテルを 5mm/sec の速度で押したときの荷重を測定した。

結果・考察は当日報告する。



	Saline hydration群	High flow-volume CHDF群	P値
年齢 (歳)	78.7 ± 8.2	78.2 ± 7.8	n.s.
性別 (male %)	81	95	n.s.
血清クレアチニン値 (mg/dl)	1.65 ± 0.16	2.28 ± 0.54	<0.001
eGFR (ml/min/1.73m <sup>2</sup> )	31.9 ± 3.5	23.8 ± 5.7	<0.001
糖尿病 (%)	52	55	n.s.
LVEF (%)	55.0 ± 13.6	47.4 ± 15.7	<0.05
IVC径 (mm)	11.5 ± 4.1	11.8 ± 3.4	n.s.
ヘモグロビン値 (g/dl)	11.3 ± 2.0	10.3 ± 1.4	<0.05
アルブミン値 (g/dl)	4.1 ± 0.4	3.6 ± 0.5	<0.01
造影剤投与量 (ml)	135 ± 97	129 ± 60	n.s.
生食輸液量 (術前) (ml)	482 ± 286	362 ± 192	n.s.
(術中)	595 ± 460	394 ± 362	n.s.
(術後)	888 ± 378	725 ± 330	n.s.